

山田養蜂場 助成対象研究の募集をスタート！

**山田養蜂場 みつばち研究助成**

Yamada Bee Farm Grant for Honeybee Research

若手研究者の創造的な研究テーマを応援！！

ミツバチ産品（ミツバチの恩恵によりもたらされる、ローヤルゼリー※1やプロポリス※2、蜂蜜、花粉荷※3、ミツロウ※4など）を製造・販売する山田養蜂場は、現会長が病弱だった娘の健康を願って開始したローヤルゼリー研究を発端に、“一人の人の健康”を守るという思いを受け継ぎ、予防医学の視点からミツバチ研究及び天然素材の有効性を追求する研究活動を続けてまいりました。

この度、ミツバチ研究のさらなる発展に寄与するため、最先端の技術を取り入れた創造的な研究テーマを助成する活動を開始しました。つきましては、45歳以下の若手研究者を対象に、幅広い分野から助成対象研究を募集いたします。

募 集 内 容※詳細は参考資料（募集要項）
をご覧ください。

公募内容の カテゴリー	1. ミツバチに関する基礎研究 2. ミツバチ産品をはじめとした有用天然素材に関する 応用技術開発・予防医学的研究 3. 養蜂技術開発研究
申込受付期間	2008年2月18日～4月30日（当日消印有効）
助成金	1件50万円から。助成金総額1億円（年間）まで。
研究期間	1年間
応募の詳細	みつばち健康科学研究所ホームページ http://www.bee-lab.jp/ をご参照ください。
申込・問合せ先	（株）山田養蜂場本社 みつばち健康科学研究所 みつばち情報センター 〒708-0393 岡山県苫田郡鏡野町市場194 TEL：0868-54-1199（研究開発部直通）、FAX：0868-54-3346 Mail： bee-lab@yamada-bee.com

※1 ローヤルゼリー…ミツバチが花粉などを原料として体内で作り出す、女王蜂のための特別食。ビタミン類、ミネラルなど栄養が豊富でバランスの整った食品として知られる。

※2 プロポリス…ミツバチが木の新芽や樹脂、花粉、ミツロウなどを原料として作り出し、巣の防御のために利用している。ポリフェノール類が豊富で、人気の高い健康食品である。

※3 花粉荷…ミツバチが蜂蜜を集める際に体に付着した花粉を団子状に固めたもの。巣に持ち帰って食料として、また、ローヤルゼリーやプロポリスを作り出す際に用いる。

※4 ミツロウ…ミツバチが分泌するロウ状の物質。巣を作ったり、プロポリスを作る際に用いている。

本件の記事掲載に関するお問い合わせ

株式会社山田養蜂場 文化広報室 早瀬、畑
〒708-0393 岡山県苫田郡鏡野町市場194
TEL:0868-54-1906（月～金 9:00～17:30、土日祝除く）
FAX:0868-54-3346 <http://www.3838.com>



山田養蜂場 みつばち研究助成

Yamada Bee Farm Grant for Honeybee Research

2008 年度 募集要項

(株) 山田養蜂場本社

(株) 山田養蜂場本社 みつばち健康科学研究所では、創造的な研究テーマを公募いたします。

1. 目的

(株) 山田養蜂場本社では、創業当時の「一人の人の健康のために」の思いを受け継ぎ、予防医学的健康観から「自然と人と健康」を結ぶための研究を続けてまいりました。現在、ミツバチ製品や天然素材の有効性を科学的に追求するために、国内外の大学や研究機関と広く共同研究を行っております。この度の「山田養蜂場 みつばち研究助成」は、より幅広い分野から先進的・創造的な研究テーマを公募し、最先端の技術を取り入れることで、ミツバチ研究のさらなる発展に貢献するとともに、科学的な解明を進めることを目的としています。

2. 応募資格

45 歳以下の若手研究者および養蜂研究者（日本語でのコミュニケーションが可能な方）を優先します。

3. 公募内容

ミツバチ製品（ローヤルゼリー、プロポリス、蜂蜜、花粉荷、ミツロウ、蜂の子、蜂毒など）を始めとした有用天然素材に関連し、これまでに報告されていない創造的な研究テーマに限りです。また、研究のカテゴリーは以下 3 種より選択してください。

- ① ミツバチに関する基礎研究
- ② ミツバチ製品を始めとした有用天然素材に関する応用技術開発・予防医学的研究
- ③ 養蜂技術開発研究

4. 助成金

助成金の年間総額は 1 億円とします。

各テーマの助成額は、年間 50 万円からとします。応募者が提出する研究計画書に基づいて必要研究経費をお見積り頂き、同用紙にご希望の助成金額をご提示ください。応募締切後、当社の審査を経て決定いたします。

5. 研究期間

1 年間を基本として、最長 3 年間とします。

6. 応募方法

みつばち健康科学研究所ホームページ上の所定の応募申請書にご記入頂き、下記みつばち情報センターまでメールまたは郵送、Fax にてご提出ください。なお、ご提出いただいた応募申請書は返却いたしません。

- ◆ みつばち健康科学研究所ホームページ：<http://www.bee-lab.jp/>

山田養蜂場

YAMADA BEE FARM

7. 申込受付期間

2008年2月18日～4月30日（当日消印有効）。

8. 選考および決定

弊社審査委員会にて審査・決定し、応募締切後2ヶ月程度で郵送にて応募者全員に採否の結果を通知します。また、採用テーマはみつばち健康科学研究所ホームページ等で公開します。なお、採否の理由に関するご照会には回答いたしかねますのでご了承ください。

9. 契約書の締結

助成対象者と当社は、知的財産権等の取扱いを含む助成研究契約を個別に締結するものとします。

10. 個人情報の取扱いに関する事項

- (1) 当社がこの助成に関連して取得する個人情報は、応募受付から、選考、採否決定通知、助成金贈呈など助成選考に関する一連の業務に必要な範囲に限定して利用します。
- (2) 当社は本件助成が決定した場合、助成対象者（所属団体を含む）、助成テーマ等の決定内容に関する情報を一般公開します。
- (3) 上記公開情報につき、第三者への提供停止の請求等を受けた場合には、当社は、適切かつ速やかに対応します。

11. その他注意事項

(1) 研究材料の提供

研究用のみつばち産品試料として、弊社商品原料のローヤルゼリー、プロポリス、蜂蜜、花粉荷についてはご希望の方に供与いたします。応募申請書にその旨をご明記ください。その他の試料については、個別に相談することとします。

(2) 報告書の提出

研究開始後、中間および最終報告書をご提出頂きます。また、別途、当社より報告書の提出を依頼する場合、その提出期限は依頼した日より1ヶ月以内とします。

予定期日までに提出しない、内容が申し込み時と著しく異なる、既に発表済みの研究成果を提出したなど、助成の目的に沿わない行為が認められた際は、助成を中止し、助成金の一部もしくは全額を返還して頂く場合があります。

(3) 研究成果の発表

応募者が学術発表する場合、発表要旨の提出の1ヶ月前にみつばち健康科学研究所にその旨をご連絡ください。またその際は、(株)山田養蜂場本社の助成を受けている旨を必ず付記していただきます。

なお、みつばち健康科学研究所は、応募者と相談の上、研究成果を学会、論文およびその他の方法（弊社主催のセミナーなど）によって発表することができます。

以上

連絡先：(株)山田養蜂場本社 みつばち健康科学研究所 みつばち情報センター
〒708-0393
岡山県苫田郡鏡野町市場194
TEL：0868-54-1199（研究開発部直通）
FAX：0868-54-3346
Mail：bee-lab@yamada-bee.com
みつばち健康科学研究所ホームページ：<http://www.bee-lab.jp/>
